次回の石版附錄投票募集

前例の通り本社は讀者の投票多數に依りて目下我邦の人物中（政治家を除き）石版附錄の肖像とす可き人を定めんとす讀者諸君今十五日を限り其人を指名して本社に通知あれ其肖像附錄は來月初旬を以て發兌すべし

時事新報定價

時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊せず其代價遞送料廣告料へ左ノ如シ

一部二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ發送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月十五錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

	一行五號活字仕四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付		十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に郵便の實費を申受く可し

時事新報社へ報道れ付

近來東京府下を始め各府縣に通信社なるもの起りて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を塡塞するより各社同一の記事を掲ぐるを寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せず又雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ぜらるゝ方多きが如し爲めに今日迄で行違ひを生したる場合も寡からず就て願ふは今後本社に記事論說を寄稿せんとせらるゝ方は直接に本社に向け發送せられたし

時事新報

請ふ伊藤伯を勞せん

身その局に當らずして時の政治を左右するものあるは古來その例に乏しからず支那に於ては垂簾の政と云ひ我國に於ては政、上皇に在りと云ふが如き歷史上に珍らしからぬ例あれども何れも一時の權宜にして政治の正を得たるものに非ず之を喩へば猶ほ家に若隱居あるが如し主人の傍より家事に喙を容れ陰に陽に指圖する者ありては一家の整理は到底望む可らず垂簾の政と云ひ上皇の政と云ふも家に若隱居の在るに異ならずして即ち若隱居の政治上に不用なる所以なり今の政治社會に若隱居の異名あるものは伊藤伯なれども伯は明治の老政治家中最も當世流にして立憲國會の政理に明かなる聞えもあれば到底政治上の若隱居を以て自から甘んずる人に非ざる可し唯今日の處にて其心事の淡泊なるは我輩の推測する所なれども如何せん生來の才氣掩ふ可らずして今日の處即ち世間の嫌疑を招くの媒介と爲り一般の人心に於て伯の事情を疑ふ者多きゆえ是非なければ伯の爲めに謀るに愈々政治の局に當るみとを厭ふとあれば斷然今の地位を止め遠く山海の端に退いて全く隱遁するにあらざれば海外に航して暫時政治の關係を絶つか然らざれば嫌疑の黑幕を脫して自から表面の局に當るの一つか二つなる可し我輩は世人と共に其表面の出現を希望して今日は正に其機會あるを既くものあれども扨伯が愈々出づるに就ては今の松方内閣の地位は如何せんと云ふに勿論現内閣に更迭を見るみとなれども抑も政權の授受に關して云々するものは民間の政黨に對する場合に過ぎざるのみ伊藤なり松方なり等しく維新元勳の仲間に外ならざれば其間に政權授受の沙汰あるは受くる者に於ても授くる者に於ても共に不平隔意の事ある可らず殊に松方伯の現在の地位は事情止むを得ずして嫌や〳〵おがら就任したるの意味もなきに非ざるよしあれば若しも伊藤伯が自から進んで之に當るとなれば喜んで讓る可きは勿論その他の閣員とても亦同樣にして伊藤内閣の新組織に反對するものはある可らず左れば更迭の一段は甚だ圓滑にして掛念するに足らざれども凡そ内閣を組織して十分の技倆を現はさんとするには共に協力する所の政友あかる可らず伊藤伯は朝野の間に多くの幕下を有して其中には才後の子弟も少なからざる由なれば其幕僚を推薦するも亦可あらざるに非ざれども我輩の望む所は伯が其幕下を率ゐると共に今の朝野の老政治家と連合して强硬有力の新内閣を組織するの一事なり聞く所に據れば前年黑田内閣の時に伯は大隈伯と共に左右黑田伯を輔翼し三伯連合の體して大に運動するの約束を爲したりと云ふ其後種々の都合より政海の事情一變して黑田内閣も世人の知る如き始末と爲りたれども思ふに今の老政治家中名望地位に富み又實際の技倆あるものは前の三伯の外には先づ西鄕非上後藤の三伯なる可し然れども西鄕は以前より退隱の志頗りにして今回の免官は恰も平生の宿願を遂げたる如きものなれば容易に其再出を望む可らず井上に至りては當分全く政治に斷念して其決心動かす可らざる由なれば是れ又到底望なしと云はざるを得ず左れば今の政治家中に指を屈す可きものは以上の諸伯即ち黑田伊藤大隈後藤の四人にして若し今日に當り伊藤伯が自から卒先して前年の約束を温めて之に後藤伯を加へて其連合の體を謀り以て新内閣を組織し之を助くるに其幕下の人々を以てしたらんには名望と云ひ技倆と云ひ何人も外より云々するみと能はざるに至る可し或は政治家の常として年來の行掛より銘々の間に種々の感情もあるみとおらんと雖も區々たる感情の爲めに大事を忘るゝは政治家の事に非ず今日は最早感情を云ふ可きの時にあらざれば我輩は一日も早く右の老政治家の連合を望むものあれども地位と云ひ機會と云ひ其合體の勞を執るに適當あるものは伊藤伯なるが故に伯に向て最も望を屬せざる可を得ず而して合體の約束既に成る以上は表面の地位に至りては伊藤伯自から之に當るも又は其他の人が之に當るも其邊は時の都合次第にて差支なし唯その連合の偏に寧固あらんみとを祈るのみ抑も伊藤伯あり其他の諸伯なり最早何れも五十以上の年齡にして既に老境に近き人々あれば其精神氣力は如何に活潑ありと云ふと雖も政治上の生活は今後十年間を出でざる可し人生五十既に過ぎんとして大功未だ成らず老政治家たるものは自から顧みて眼前の機會を看過するみと勿れ

雜報

○各地農工商業彙報（前號の續）

大坂府　同府下の蠶況は先頃の本紙上に於て既に其概略を報道せしが今又其後の模樣を各郡市に就て記載せんに西成郡は掃立後生育頗る宜く客月來冷氣を催はせしため幾分の氣遲ありしも豫防方嚴重なりしがため更に異狀なく本月始めには四眠起を經過して蠶兒頗る强壯ありし〇東成住吉兩郡　發生以來濕氣もなく病狀の患もなく眞好の生育なれば本年は例年に比して上結果を見るべき景況なり〇嶋上嶋下兩郡　掃立以來其成育頗る宜し中にも溫暖育は勢ひ一層活潑にして掃立より三十二三日にて上簇せり蠶量は青繭にて一疋一匁二分のものあり數年來に於き好況あり又本月四五日頃の見込に據れば清涼飼も昨今は大抵上簇する等にて大概百七八十戸の飼育者中一人も失敗せしものはなかるべしと〇豐嶋能勢兩郡　にては三眠後溫度の昇降劇しく發育上氣遲ひたりしも幸に大害はなく本月初めには概して良き方あり〇大嶋泉兩郡　掃立後は氣候に變動なく晴天續きしため發育速かなりしも飼育上に幼稚の者多きより給桑不足を生じ乾燥に過ぐるもあり本月初めに早きは上簇せしも大抵は四眠止桑中最も後れしは三齡の半にて不揃あるも一般の景況は十分收繭の見込あり〇南、日根兩郡　掃立より二眠の頃に至る迄氣候一定せざりしより稍や飼育上の困難を來せしも爾後快晴打續きて蠶兒壯健なるが上に桑葉も十分の伸張にて給桑に乏しからざるとに病患あきとにより生育至極宜しく本月初めに概ね四眠に達し最も早きは上簇に掛れるもありしと〇石川、八上、古市、安宿部、錦部、志紀、丹南七郡　四月二十五日前後に掃立て其後日和續き寒暖も室外六十度より七十五度室内は六十八九度より七十五六度の間に昇降して飼育上に適應し給桑宜しきを得眠起上に異狀あく至極好結果の見込なり〇若江、高安、澁川、大縣、丹北、河内六郡　發生以來氣候順良にして殊に降雨稀なるより蠶兒の發育最も速にして初齡より五齡に達するまで不眠又は病害等の患あく雌客月二十二三日頃眠に溫暖の模樣にて外溫八十度以上に達し飼育上一時困難の體ありしも室内空氣の流通に意らざる等注意周密ありしため一般の上簇好景況あり是等は飼育者多年の經驗を得たると巡回教師の教授法宜しきを得たるの功與りて力あるべしと云ふ〇茨田、交野、讃良、三郡　掃立以來生育何れも活潑にして未だ病蠶を生せしみとおく本月三四日頃には四眠起より三四日のもの最も多く尙は一週間の後には上簇するもの多かるべしとの見込なり〇堺市　發生の際多少寒冷のため蠶兒柔弱の憂ありしも中旬以後氣候立直りて十分の回復を得爾來四眠に達し本月初めに於て半は成繭し遲きも上簇に掛らんとする場合あり一般の模樣は多少病害を受けたるも概して好結果ありとす

岩手縣　同縣下の重なる物產は牛馬、海產物、菓類、米麥豆、生絲、蠶表の類にて本年の麥作は上出來の方あり〇養蠶　の最も盛なる地方は江刺、膽澤、磐井等の諸郡、にて盛岡市の養蠶掃立は種紙大凡百五六十枚に過ぎず一枚の代價は金一圓二三十錢なり本月上旬頃には大抵三眠起き位にて發生は至て宜しく此上氣候に非常の變動おくば充分の收繭あるべき見込にて來る二十七八日頃には大概上簇すべしと云ふ當時山桑の相場は一貫目四錢位なれど尙ほ下落の模樣あり〇金融　は一般に緩漫の姿にて去月下旬は地租の納期なれば幾分か引き締めるならんと思ひしに差したる事もおく殊に米穀は各農家に滯積するも秋蔆の模樣と市場の景況を窺ふものゝ如く昨年の生絲も十分の利益なかりしより自然商況の不景氣を來せしおらんなれども本年の生絲發賣の時季に至り米穀も隨て澄なる現象を呈するを期し二分より年九朱の利子年五步五厘ありし

靜岡縣　同縣下豆州地方の產物は蠶麥茶作拂は何れも二十年一般碧賀の模樣なるをなしたるが平年より昨年凶作の餘響にて畑も增加せしより左れど相場は依然として養蠶は　當業者が誘十餘日間早くして手蘭の量殆んど二割餘より三升五合の間おく抵七八寸以上成長しらん其他菜種、夏蕎麥金融　は相替らず沈困難あれば一方には一方には利潤に不釣合の次第

○千嶋開墾の方針

千幣三十三方里餘も國後、得撫、幌茂尻等使の時より北海道廳度外に放任しありたは自ら中央政廳の接ざるが上に此諸嶋は未だ充分に開け行屆き兼ねるの嫌ひ、國後の二嶋は本嶋官署もあり僅少おが

りて年々相應に水產人嶋の儘に經過し來

以東の諸嶋に至ては

ありて我國の版圖に

栖原角兵衛なる人が

も無く廢止して今は

夫が出張し居る位に

るは擇捉嶋の如くは

十七里、幅七里乃至十

ど他の諸嶋に比すれ

の地なるは云ふ迄も

極の古守、幌茂尻二嶋

の有無さへ未だ判然

の如く無人嶋の儘に

寄泊所たらしめあるの

あれば其精神氣力は如何に活潑ありと云ふと雖も政治上の生活は今後十年間を出でざる可し人生五十既に過ぎんとして大功未だ成らず老政治家たるものは自から顧みて眼前の機會を看過するみと勿れ

第一着手として右の嶋の事業にも其方針を

の內田技師、水產課の

共に目下同嶋に出張し

內部の地質礦物草木等

村技手は水族海藻等沿

神保技師も目下同嶋等

なりと云ふ尙ほ又永山

々幾年よりとは未だ決